

写真
福田喜一
スタイリスト
野村奈央
文
ツレヅレハナコ

SHOPPING BAG

ツレヅレハナコ、 今日の買い物カゴ

食べて吞んで旅して執筆、と
大活躍のハナコさん。

さあ、本日はどんな気分で
食材を選んだの？

〈丸昌商店〉
五右衛門とうふ

500g
389 円
火木土日入荷

シェフズセクション

国産大豆を使い、
表面は木綿、中身
は絹ごしという独
特な豆腐。



〈ISETAN
MITSUKOSHI
THE FOOD〉
天然利尻昆布

40g 800 円

シェフズセクション

透き通った香り高
いだしがとれる北
海道産の利尻昆布。

〈大信州酒造〉
大信州金紋綿

720ml 3,850 円

粋の座(和特選)・
和酒

酒米「金紋綿」を
使用。旨み、酸味
が好バランス。



第22回

辛味噌のパワーで 芯から温まる。



今回の
主役
アイテム

あぶまた味噌
〈青源〉
辛味噌だれ

180g
648 円

シェフズセクション

特製味噌に香味野
菜を加えたピリ辛
の合わせ調味料。



〈東信水産〉
ムキエビ
(養殖・解凍)

インドネシア産/
100gあたり 627 円

フレッシュマーケット

歯ごたえの良い大
ぶりの海老の殻を
むいたむき海老。

手

の先までしびれるような寒い
日の夜。やはり食べたくなる
のは、鍋もの！ ぐつぐつと煮込ま
れた具材をみんなで取り分けていた
だけ、体の芯から温まります。

とはいえ、何度も鍋をしていると
メニューがマンネリにもなりがち。
私はシンプルなお水炊き鍋が好きなの
ですが、ポン酢にもいい加減飽きて
きた……。そんなときに頼りになる
のが市販の合わせ調味料です。

最近のお気に入り、あぶまた味
噌で取扱う栃木県のお味噌蔵〈青
源〉の「辛味噌だれ」。蔵自慢の味
噌をベースに、にんにくやしょうが、
唐辛子をブレンドしてあり、ピリリ
と辛くてパンチが効いている！ 鍋
には味をつけず、この辛味噌をスー
プで溶いていただくのがオススメ。



〈伊藤和四五郎
商店 鶏三和〉
鶏挽き肉
(もも肉・ムネ肉)

国産/
100gあたり 360 円

フレッシュマーケット

鶏ムネ肉と脂のバ
ランスの良い鶏も
も肉の鶏挽き肉。

鍋の具材には、
自家製の鶏団子。
たねに豆腐をたっ
ぷり混ぜ込むのが、

ふわふわの口当たりにするポイント。
このとき、粗くたたいた海老を加え
ると、良いアクセントになりますよ。
いつもせつせと具材を食べている
だけで満腹になってしまうのですが、
鶏団子や野菜からだしが出たスープ
は旨みのかたまり。絶対に捨てず、
翌朝までとっておきます。

そして、朝食はそのスープこそが
主役。ごはんやうどんを加えるのも
良いですが、軽めにしたいときは、
卵だけを加えてかき玉汁にするのが
私の定番。でもその一杯は、五臓六
腑に染み渡るおい
しさなのです。



ツレヅレハナコ
食と酒と旅を愛する文筆家。
著書に『まいにち酒ごはん日
記』『幻冬舎』など。

